



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより 第42号
平成 29 年 3 月 14 日

四気＝川越中校訓「やる気 ほん気 こん気 げん気」

法について考える

9日（木）2～6限目、第2学年の全クラスで、「公正」でよりよいルールとはどのようなものかを考える、授業を実施しました。

授業当日は、弁護士7名の方にお越しいただき、各クラスの1時間目となる2～5限目は、1名の方が一斉で授業を進行し、他の6名の方がそれぞれ6班のファシリテーター(※1)となり、グループ学習での活発な討議を進めてくださいました。

各クラス2時間目となる6限目は、1名ないし2名の方が各クラスに分かれ、1時間目の討議内容の講評及び公正なルールをつくるためのポイント（下表）の確認、そして、私的なことに係る質問も含め、丁寧にお答えいただきました。生徒一人一人が主権者として、法についてしっかり考えるきっかけをいただきました。

【授業の様子】

【公正なルールをつくるためのポイント】

- ・ 必要以上に人の権利を侵害しない
- ・ ルールが明確である
- ・ 公平である（差別してはいけない）
- ・ ルールと罰のバランスがとれている



※1 会議などにおいて、議論に対して中立な立場を保ちながら話し合いに介入し、議論をスムーズに調整しながら合意形成や相互理解に向けて深い議論がなされるよう調整する役割。（ウィキペディアフリー百科事典より一部抜粋）

新たなスタート

10日（金）6限目に、第1，2学年の合同集会を「卒業式の振り返りと川越中学校の新しいスタートに向けて」というテーマで開催しました。

各クラスで、スローガン「『感謝』届け！在校生の思い～川中で良かったと思える卒業式に～」に係る1，2年生の取り組みを検証し、拡大室長会に持ち寄りました。その会でまとめた成果と課題を代表生徒が発表しました。全クラスが設定したテーマをほぼ達成し、卒業生の意思を確実に引き継ぎました。

また、卒業生2名が在校生に宛てた「後輩へのメッセージ」をもとに、第3学年進路指導担当の長田先生から、2年生の1年後、1年生の2年後を見通し、その時に自分自身を確立しておくことの大切さをお伝えしました。

最後に、3年1組学級担任の高須先生から、県立高校調査書の「行動の記録（※2）」に照らし合わせて、卒業生の学校生活を振り返り、在校生に今後の学校生活で心掛けることや努力すべきことをお伝えしました。

この集会を終え、体育館を出ていく後ろ姿が、新入生に羨望のまなざしで見つめられる、立派な新2，3年生としての風格を漂わせていました。

【集会の様子】



※2 基本的な生活習慣、健康・体力の向上、自主・自律、責任感、創意工夫、思いやり・協力、生命尊重・自然愛護、勤労・奉仕、公正・公平、公共心・公德心の10項目。